

令和5年度 5つの重点項目

重点項目とその施策について抜粋してご紹介します

01

未来に向けた 大胆な行財政改革

地域や市役所のデジタル化の推進と公共施設の適正化

新規 香南市デジタル化推進計画の策定

行政事務等のデジタル化に向け「香南市デジタル化推進計画」を策定し取り組みを進めます。

新規 公共施設等マネジメント推進業務

公共施設のあり方を整理した「公共施設等の適正配置に関する方針」および「公共施設等適正配置計画」を2カ年で策定します。

03

こどもまんなか社会の推進

子育て支援の強化と教育・保育施設の
適正化を推進

新規 こどもまんなか家計応援給付金事業 (予算計上:8,841万円)

子育て世代に対して給付金を支給します。
(子ども一人当たり15歳未満:15,000円
15歳以上18歳以下:30,000円)

新規 紙おむつ回収事業 (予算計上:169万円)

保育所・幼稚園から各家庭に持ち帰っていた使用済み紙おむつを各園で処分します。

拡充 総合子育て支援センター「にこなん」 「病後児保育」の開設時間拡充

05

多様性を認め合う 共生社会づくり

性のあり方、年齢、障害等にとらわれない
社会の実現への取り組み

新規 引きこもり支援普及啓発事業 (予算計上:123万円)

02

市民の命と暮らしを守る

withコロナ時代の心身の健康維持支援や
災害に強いまちづくり

継続 新型コロナウイルスワクチン接種体制 確保事業 (予算計上:9,204万円)

新規 危険廃屋解体撤去事業費補助金 (予算計上:400万円)

避難道の確保および市街地の防災安全性を確保することを目的に、老朽化した倉庫・離れ等、それらの建物だけの撤去費用の一部を補助します。

新規 事前復興まちづくり計画策定事業 (予算計上:417万円)

被災後の迅速な復興ができるよう、復興基本方針や復興手順書などを定め事前復興計画を推進します。

04

持続可能な地域づくり

地域間の人口格差緩和と住み慣れた地域で
暮らし続けられるまちづくり

新規 新築住宅取得支援事業 (予算計上:1,250万円)

市への移住および定住希望者に対して、市内の人口減少地域での住宅の取得支援を行います。

新規 予約式乗合タクシー運行委託業務 (予算計上:511万円)

拡充 農業公社補助金 耕作放棄地対策の取り組み (予算計上:4,155万円)



今と未来 の香南市へ



2月27日から3月24日まで行われた香南市議会定例会で、令和5年度の施政方針を述べさせていただきました。私にとりまして初の当初予算の編成であり、就任時に市民の皆さまにお約束した「信頼と共生」を実現するための実質的な最初の年となります。職員が一丸となり、そして、議員の皆さまや市民の皆さまからの一層のお力添えとご協力を仰ぎながら、進めてまいりたいと考えております。

濱田 豪太

濱田 豪太、二つの決意

一、住民に寄り添う姿勢を常に心がけ、**今**直面する課題に対して正面から向き合う

一、**未来**に責任を負う世代の一人として、変革を恐れず市職員と一丸となって、未来に向けた大胆な行財政改革に、不退転の決意を持って取り組む

最重要 施策

デジタル化と 公共施設等マネジメントの推進

今まさに、香南市は一つの大きな節目を迎えようとしております。

持続可能なひとつのまちとして進んでいくためには、合併20年を迎える節目の時までに、大胆な行財政改革を推進することで、加速する人口減少と時代の流れに合わなくなった制度や仕組み等のひずみを是正しなければなりません。

その第一歩として、公共施設等の適正配置と運営の効率化に取り組むとともに、人や地域を支えるデジタル化による変革を目指します。

そのために、たとえいかなる困難があろうとも、私は香南市の未来に向けて「もし聞く人なくば、たとえ辻立ちをしてでも、私の思いを市民の皆さまに説明を尽くし続ける」覚悟であります。

